

公表

事業所における自己評価総括表 児童発達支援

| | | | |
|----------------|----------------------------|-----|------------|
| ○事業所名 | カップケーキいちかわおの | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 2月 1日 ~ 2026年 3月 16日 | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 12名 | (回答者数) 10名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 2月 1日 ~ 2026年 3月 16日 | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 9名 | (回答者数) 9名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 3月 16日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 質の高い個別支援とモニタリング | アセスメントに基づき、子どもの特性や「発達の連鎖上のポイント」を捉えた具体的な支援内容を設定している。 | 日々の実施記録やモニタリングを仕組み化し、計画に対してどのような成果が得られているかを常に評価・改善する。 |
| 2 | 安全・安心な運営体制 | 非常災害対策、事故防止、個人情報保護など、コンプライアンスや安全に関する全項目で「はい」の満点評価。 | 各種マニュアルの周知を徹底し、定期的な訓練(3ヶ月に1回以上)やヒヤリハット分析をして事故を未然に防ぐ。 |

| | | | |
|---|---------------|---|--|
| 3 | 子どもを主役にした環境作り | お子さんが「毎日楽しかった」と言えるような、成功体験を積み重ねるプログラム構成を工夫している。 | 子どもの意欲を引き出し、新しいことにも安心して挑戦できる「心の通い合う温かい支援」の質をさらに追求する。 |
|---|---------------|---|--|

| 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|--|-----------------|---|--|
| 1 | 施設設備の老朽化・メンテナンス | 「壁紙の破れが気になる」という指摘があり、環境の心地よさに一部課題が見られた。 | 日常の清掃は行っていたが、内装の細かな劣化に対する修繕計画が後手に回っていた。 |
| 2 | 保護者間コミュニティの支援 | 同じ悩みを持つ保護者同士の交流（父母の会、茶話会等）を求める声が具体的な意見として複数寄せられた。 | これまでは個別の支援に注力しており、保護者同士が横に繋がる場や機会の提供が不足していた。 |
| 3 | 地域交流と社会参加の機会 | 地域子どもたちと活動する機会（項目11）について、肯定的な回答が半数に留まっている。 | お子さんの特性や状態への配慮を優先した結果、外部との交流活動が限定的になっていた。 |

事業所としてのまとめ

今回の自己評価では、支援の専門性や安全性において高い評価をいただきました。今後は、保護者様から寄せられた「壁紙の修繕」という環境面での改善と、「保護者同士の交流」という情緒的なサポート面の充実を最優先事項として取り組んでまいります。お子さんも保護者の皆様も、より心地よく過ごせる事業所を目指します。